

国際ロータリー第2770地区  
第11グループ

Rotary 

川口 RC  
Weekly Report

No. 28

●オンライン特別号

第2回

2020年5月10日配布

●事務局

〒332-0012 川口市本町 1-18-5 NTT ビル 1F  
TEL 048-222-0124 FAX 048-222-0118  
http://www.kawaguchi-rc.com  
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp



2019-20年度  
会長: 渡部 行光  
幹事: 平田 修一

## メッセージ

皆さんお元気ですか。例会もなく2ヶ月半が経過いたしました。この新型コロナウイルスの被害は本当に深刻で、現実にコロナウイルスに感染してしまった人も、コロナウイルス対策により経済的に大きな影響を受けた人も、そしてそのような生活環境になかなか慣れない人も、世界中の人々を巻き込んで、いまやコロナ騒動とでも言うような様相を呈しています。

国によっては爆発的な感染拡大を経て、このままの生活を制限しなくてよいのだろうか考えさせられますが、日本の自粛要請というソフトな対応はそれでもそこに不満のある人はたくさんいますが、それなりに日本的な解決過程で悪くないような感じがします。

でも、やはり経済です。政府も今までは考えられないような大きな規模の財政出動をしていますが、今後の財政が陰ながら心配になります。各企業は今までにない大きな需給構造の変化にビジネス構造が今後大きな変動を起こすのではないかと危惧しているでしょう。

ロータリークラブも他人事ではありません。ロータリーの例会はロータリー活動の中心的行事で毎月のメンバーが集会する習わしは、それによってメンバーの親睦がはかられ、様々の行事の形を作るものです。それが4月から5月まで中止になることは今までに経験したことも、考えたこともなかったと思います。しかし、今、LINEを使ってメンバー同士の交流は始まっています。万全ではありませんが、新しいクラブのあり方についてもいろいろな議論が起きています。

そのようななか、4月23日にLINEで理事会を行いました。十分な会議環境ではありませんでしたがどうか理事会としていくつかの決定を行いました。まずは、5月中の例会を中止することを決めました。6月には緊急事態宣言も解除され例会も変則的にでも開催したいと思いますが、今後の動向を考慮して決定したいと思います。また、中止となった奉仕事業の代わりに、陸前高田 松原を守る会に寄付100千円、福島県富岡町役場 義援金100千円をそれぞれ寄付することになりました。そしてコロナウイルス関連の対策として、一つは我がクラブのメンバーである佐藤院長が所属する済生会川口総合病院に対して医療支援として1,000千円を寄付、また現在学校が休校となって、その狭間の学童施設に消毒液を200千円相当を寄贈することにしました。

また、今年度は増強が少し疎かになっていますので、こんなときに増強かと思われるメンバーもいるかと思いますが、いま100名を割って98名になっています。残り5月、6月の残された期間で100名を回復したいと考えています。そのために入会金をその2ヶ月入会者には免除することといたしました。

さらに今のメンバーに対しても今年度例会の回数が減り、それによって例会費用等が縮減されました。それについて、相当の返金を検討したらという提案もあり、次の理事会で継続審議することになりました。今度の理事会は5月21日に、またオンライン理事会ということになりますが、開催する予定です。

この新型コロナウイルスという災厄を通して、われわれはたくさんのことを学びました。普段簡単に交流できた組織や人が本当に遠く感じ、しかしネット社会という新たな道具によって、新たな近さを実現できることは大きな収穫です。今年度川口ロータリークラブの年度テーマとして「100人の輪、人々をつなぐ」を掲げました。人と人のつながりを否定するような対コロナ施策を乗り越えて、新たなつながりの仕組み、より広いつながりの可能性を作っていきます。

渡部 行光